道頓堀商店会報

http://www.dotonbori.or.jp

6月号（2015 5.27 No.116）

道頓堀商店会事務局

〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-7-21 中座くいだおれビルB1

TEL.06-6211-4542　FAX.06-6211-9764

発行人：今井 徹　　編集：広報委員会（吉田）

平成27年度 通常総会および会員交流会を開催しました。

日時・場所：平成27年5月25日（月）午後2時より JRAウインズ道頓堀4F

会員交流会：大起水産 回転寿司

【議 題】

第1号議案
平成26年度事業報告並びに収支決算報告承認の件

第2号議案
任期満了に伴う新役員候補承認の件

第3号議案
商店会会則の一部改正承認の件

第4号議案
平成27年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件

当日の出席者は41名、委任状提出者は35名で、総議決権者の過半数に達しており、上程された議案は、すべて原案通り承認されました。

主な議論として、役員改選があり、前年度までの役員全員がそのまま新役員に選任されました。また、会則の一部改正が承認され、新たに除名規定が加わりました。毎月の請求にも関わらず、正当な理由なく1年以上会費を納めない会員、本事業を妨げ、また妨げようとした会員などに対して除名できるという内容になっています。

27年度の新規事業については、8月16日開催予定の「道頓堀盆おどりインターナショナル2015」では、世界最大規模のBON・DANCEとし、ギネス認定に挑戦し、道頓堀の名を世界にアピールすることが承認されました。また、道頓堀の将来計画を検討する特別委員会「道頓堀500！」（仮称）の設置が決まりました。

▲大起水産での交流会。

特別委員会「道頓堀500！」（どうとんぼりGOマルマル・仮称）を設置します。

先日の総会において、承認をいただきましたが、商店会のあり方を中長期的に検討する特別委員会「道頓堀500！」を設置することになりました。

現在インバウンド客により賑わっているようでも、国内の来街者は減少傾向にあり、また社会環境の変化により海外からの訪問者は急激に減少することも懸念されます。先行き不安の将来を見越した対策として、100年後も賑わいのある道頓堀であり続けるために、名称を「道頓堀500！」としました。「ライブ・エンターテイメント」の町の元気さ、「和を以って貴し」とする基本理念をあわせて「500」…「ライブでGO！和を大事に○マルく」という意味を込めています。

主な活動は、まちづくりや商店会事業に詳しいコンサルタントに相談しながら、外部有識者のヒアリング、情報収集、先進事例研究などを通し、「道頓堀川開削400年」の後、100年先を見据えた道頓堀の将来のあり方を検討。勉強会や討論会など会員のみなさんにも積極的に参加をしていただき、実現性のある提言としたいと考えています。また、年4回程度委員会の進捗状況をお知らせする「ニュース」も発行します。

▲大阪松竹座【6月公演】

▲総会風景（5月25日）

2015年 6月の行事予定

2（火）南商連常任理事会
14：00～ 大阪市立中央会館

12（金）四商店会合同パトロール（予定）
18：00～ 戎橋交番前

19（金）四商店街代表者会議
14：00～ 心斎橋筋商店街振興組合
南商連総会
17：30～ スイスホテル

22（月）とんぼりリバーウォーク賑わい創出連絡会
10：00～ スポタカ

24（水）6月度定例役員会
14：00～ 商店会事務局

29（月）ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会連絡会議
14：00～ 南署
夜間合同パトロール
20：00～ 難波高島屋グリーン前広場

「道頓堀川開削400年」記念 嘉門達夫さん「レッツゴー！ミナミ！」を制作。

「道頓堀盆おどり」といえば、嘉門さんの「道頓堀へいらっしゃい音頭」。今回は、ミナミがもっと元気になって欲しいという願いを込めて、「400年祭」記念曲「レッツゴー！ミナミ！」を制作。道頓堀を始め、心斎橋や戎橋、道具屋筋に千日前、宗右衛門町…、ミナミのおなじみの地名が次々と…。サンバ調でとても親しみやすいミナミの街の応援ソングです。みなさん、一緒に歌いましょう！

▶新年互礼会で歌う嘉門達夫さん

道頓堀川万灯祭「提灯」献灯、好評受付け中です。

今年は「道頓堀川開削400年」の記念の年、1つでも多くの献灯をお願いします。お申込み・お問い合わせは、道頓堀商店会事務局（☎06・6211・4542）まで。

1灯：1万円（税込）

※献灯場所をご指定していただくことはできません。

大阪ミナミ地域の店舗や企業でなくても、どなたでもお申込みいただけます。

道頓堀の戦後70年 ③ 道頓堀ロマン＝喫茶コンドルと三笠ビル

▲戎橋から見た丸万ビル（三笠ビル・現在のTSUTAYA）（大正末期）。

……

暮れゆけば　ブルーの道頓堀左岸
赤い灯　青い灯……
月はレモンのポーカー・フェイス
夢はロマンの織田作ごのみ
赤い灯　青い灯……
こぼれ花火の金と銀

（道頓堀左岸　歌：アイ・ジョージ　作詞：石浜 恒夫）

●オダサクも通った道頓堀

御堂筋と道頓堀左岸の角（旧九郎右衛門町）に喫茶コンドルがありました。女主人の名は井上せつさん。ママを慕う文学青年の溜り場でした。その筆頭がオダサクこと織田作之助、次が石浜恒夫でした。

コンドルが誕生したのは、終戦まもない昭和20年秋。バラック建ての喫茶店。あたりはまだ戦災の跡をそのままに留めていました。通りをはさんで精肉・日本料理のはり重が開店したのは23年に入ってからです。治安が悪く、店の周りを竹サクで囲い、テーブルもあり合わせの寄せ集め、そこに夜な夜な文学青年や絵描きのタマゴが集い、喧々諤々と文学論や芸術論をやっていたのです。せつさんは、身銭を切ってそういう若い人の面倒をみました。漫画家志望だった筆者もその一人で、コンドルの地下で、昭和35年頃居候をしていました。

コンドルは、その後4階建てとなり、地下で調理し、1階から4階が店舗でした。レジは妹さんとひとり娘が担当。娘はパーテンの木村さんと結婚。店を閉めてからのせつさんの消息は杳として分からない。オダサクは後年、コンドルのウェイトレスで、劇団の女優だった輪島昭子さんと恋仲になったのである。

織田作之助、昭和22年1月10日没、享年35歳。石浜恒夫、平成16年1月9日没、享年80歳。井上せつさん不明、合掌。

▲昭和20年、空襲直後の道頓堀通り。

●三笠ビル・ナンバ一番

太平洋戦争の末期、昭和20年3月13日、B29の大空襲で大阪市内は焼け野原となりましたが、道頓堀は松竹座、三笠ビル（旧丸万、現TSUTAYA）、アドビル（旧広告商事、現かに道楽本店）だけが焼け残った。

三笠ビルは5階建てで戦後の一時期、4階は進駐軍のダンスホールとして接収されていました。三笠ビルは道頓堀と戎橋の角地に面しており、昭和22年1階に洋装・生地販売の「太平マート」（40坪）がオープンしました。同年の後継ぎ平井正夫さん（大正12年生）は、京都大学法学部出身で、学徒出陣でソ連に抑留されたが、23年に帰還しました。

食糧も衣服もない時代、太平マートは繁昌しました。店は天井が高く、中2階を作り、婦人服の仕立てもして、現アメリカ村へも支店を出す勢いでした。三笠ビルは、太平マートのほか、道頓堀の通りに面し、カメラ・ドウトン、パン・菓子の店も営業しました。

昭和30年代の初め、ここに伝説の音楽喫茶と伝えられる「ナンバ一番」が地階にオープンします。オーナーは、パチンコ・オメガ会館で成功を納めた何国華さん（故人）。当初はタンゴの藤沢嵐子さんやシャンソン歌手らが出演する落ち着いた雰囲気の店でした。屋上には「西洋古美術コレクション・音楽喫茶ナンバ一番」と看板が出ていました。その頃、グループサウンズが人気で、4階のダンスホールはライブハウスになりました。その専属バンドだったのがザ・タイガースの前身、ファニーズ。ボーカルに沢田研二さん、加橋かつみさんがいたのです。ナンバ一番は歌手の登竜門で、若き日の和田アキ子さんもここから巣立ち、浜村淳さんも司会を務めていました。

昭和30年代は、コンドルのほかに、「凡」（現ギャラリー香）、「8」、「レッド」、「白水」が通りに面してあり、松竹座1階には「逢いましょう」があって、道頓堀は喫茶店がひしめいていました。

（広報・吉田利照）

▲「タンゴの女王」藤沢嵐子を迎える音楽喫茶「ナンバ一番」（昭和30年ころ）。